



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月6日

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2607 URL <http://www.fujioilholdings.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 洋史
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 関 伊知郎 TEL 06-6459-0701
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	226,657	△1.6	15,933	0.7	15,639	0.3	9,015	△18.6
2018年3月期第3四半期	230,409	5.5	15,822	1.2	15,588	△0.9	11,070	△3.4

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 3,536百万円 (△70.9%) 2018年3月期第3四半期 12,170百万円 (147.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	104.88	—
2018年3月期第3四半期	128.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
2019年3月期第3四半期	277,321	159,202	56.4	1,820.29
2018年3月期	270,731	164,897	59.2	1,863.83

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 156,468百万円 2018年3月期 160,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	23.00	—	25.00	48.00
2019年3月期	—	25.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	303,000	△1.5	18,000	△12.1	17,500	△12.4	11,200	△18.5	130.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	87,569,383株	2018年3月期	87,569,383株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,611,437株	2018年3月期	1,611,209株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	85,958,026株	2018年3月期3Q	85,958,568株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一時懸念された自然災害の影響も10月以降は縮小し、良好な雇用・所得環境を背景に消費は改善基調を継続、緩やかに増加する輸出を受けて企業収益も堅調で、景気は回復を続けております。米国は良好な雇用・所得環境による個人消費の拡大、中国向けで下げ止まりを見せる輸出や税制改革による景気の押し上げ効果を受け安定した成長を見せております。欧州は内需拡大を受け雇用・所得環境が改善、景気は底堅い推移を示しております。中国は堅調な消費に支えられながらも貿易摩擦などを背景に景気は減速傾向となっております。

この様な状況の中、当社グループは、世界的な人口増加、健康志向の拡大、高齢化への対応といった社会が直面する課題を植物素材を用いた食の力で解決する“Plant-Based Food Solutions”を掲げ、推進しております。また、中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」（2017年度～2020年度）の2年目にあたり、持続的な成長を果たすため重要な土台づくりの期間として、「コアコンピタンスの強化」「大豆事業の成長」「機能性高付加価値事業の展開」「コストダウンとグローバルスタンダードへの統一」を主軸とした成長戦略を推進し、大きく変化する市場を捉え、成長する市場・強みを発揮できる市場に展開を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は2,266億57百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は159億33百万円（前年同期比0.7%増）、経常利益は156億39百万円（前年同期比0.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は90億15百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4） 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等） II 当第3四半期連結累計期間」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」を参照下さい。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の算定方法および変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較しております。

(油脂部門)

売上高は、国内市場ではフライ用油脂などで採算を重視した販売を進める中、流通菓子市場向けに数量が増加するなどしましたが、微減となりました。海外市場では米州で年初の寒波による工場操業停止の影響や採算を重視した販売により減少しました。利益面は、海外市場では上記減収要因などにより僅かに減益となりましたが、国内市場では採算を重視した販売などによる採算改善により大幅な増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は830億83百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益（営業利益）は63億10百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

売上高は、国内市場ではチョコレート製品が減少し、海外市場では中国でフィリング製品の販売が引き続き大幅に増加しましたが、ブラジルが為替変動要因を主として減少するなどし、僅かに減収となりました。利益面は、国内市場ではチョコレート製品が採算改善した一方でデザート製品で減少、海外市場では中国の販売好調に加え、ブラジルでの採算改善、たな卸資産の未実現利益の実現による連結調整上の増益要因がありましたが、アジアでの調製品の採算悪化により、減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は1,160億25百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益（営業利益）は94億15百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

(大豆部門)

売上高は、国内市場では大豆たん白素材が健康食品や惣菜加工品向け販売で増加しましたが、大豆たん白食品の販売減少などにより、減収となりました。海外市場（中国）では増収となりました。利益面は、海外で改善しましたが、国内市場での大豆たん白食品の販売減少により、減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は275億49百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益（営業利益）は26億79百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ65億90百万円増加し、2,773億21百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の増加21億99百万円、受取手形及び売掛金の増加30億53百万円、有形固定資産の増加15億13百万円、のれんの減少7億61百万円、投資有価証券の減少13億58百万円等であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ127億58百万円増加し、693億71百万円となりました。

主な純資産の変動は、資本剰余金の減少31億31百万円、利益剰余金の増加47億17百万円、為替換算調整勘定の減少53億46百万円、非支配株主持分の減少19億52百万円等であります。

この結果、自己資本比率は56.4%、1株当たり純資産は1,820円29銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ21億99百万円増加、前第3四半期連結累計期間末に比べ21億95百万円増加し、151億99百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で35億67百万円減少し、133億1百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益124億18百万円、減価償却費84億27百万円、仕入債務の増加額21億64百万円等による収入が、売上債権の増加額36億67百万円、たな卸資産の増加額9億44百万円、法人税等の支払額49億81百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で38億70百万円支出が増加し、135億77百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出117億80百万円、無形固定資産の取得による支出11億78百万円、子会社株式の取得による支出20億89百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で99億94百万円収入が増加し、30億77百万円の収入となりました。これは主に、短期借入金の純増加額78億31百万円、コマーシャル・ペーパーの純増加額50億円、長期借入れによる収入27億68百万円等による収入が、長期借入金の返済による支出26億4百万円、配当金の支払額42億97百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出48億74百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出5億17百万円等の支出を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2018年11月6日発表の業績予想を下記のとおり修正いたします。

2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	312,000	21,300	20,700	14,000	162.87
今回発表予想 (B)	303,000	18,000	17,500	11,200	130.30
増減額 (B-A)	△9,000	△3,300	△3,200	△2,800	—
増減率 (%)	△2.9	△15.5	△15.5	△20.0	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	307,645	20,481	19,983	13,742	159.87

売上高については、油脂部門の海外グループにおける採算を重視した販売による減少、製菓・製パン素材部門の海外グループ会社における為替影響を主要因として、前回修正から更に下回る見込みとなったことから2019年3月期通期業績予想を下方修正しております。また、営業利益については、第3四半期まで順調に推移しておりますが、足元の業績動向が当初想定を下回ること、Blommer Chocolate Company（米国）の買収関連費用の発生および中国子会社の事業譲渡を前提とした減損損失の計上を主要因として、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、2019年3月期業績予想を下方修正しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,009	15,209
受取手形及び売掛金	64,031	67,085
商品及び製品	23,866	23,381
原材料及び貯蔵品	24,474	25,390
その他	5,841	7,189
貸倒引当金	△419	△121
流動資産合計	130,805	138,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,279	35,270
機械装置及び運搬具(純額)	35,856	37,141
土地	14,734	14,593
建設仮勘定	6,638	6,940
その他(純額)	2,374	2,450
有形固定資産合計	94,883	96,396
無形固定資産		
のれん	11,647	10,885
その他	10,430	9,648
無形固定資産合計	22,077	20,533
投資その他の資産		
投資有価証券	16,484	15,126
退職給付に係る資産	2,076	2,621
繰延税金資産	642	1,008
その他	3,915	3,618
貸倒引当金	△154	△119
投資その他の資産合計	22,964	22,255
固定資産合計	139,925	139,185
資産合計	270,731	277,321

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,210	27,058
短期借入金	19,747	27,413
コマーシャル・ペーパー	5,000	10,000
未払法人税等	2,263	1,304
賞与引当金	2,415	1,525
役員賞与引当金	86	5
その他	12,738	12,229
流動負債合計	67,460	79,536
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	21,865	21,958
繰延税金負債	3,221	3,912
退職給付に係る負債	2,088	2,144
その他	1,196	566
固定負債合計	38,372	38,582
負債合計	105,833	118,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	15,609	12,478
利益剰余金	129,031	133,748
自己株式	△1,750	△1,751
株主資本合計	156,098	157,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,543	5,271
繰延ヘッジ損益	△329	△80
為替換算調整勘定	△592	△5,938
退職給付に係る調整累計額	△509	△467
その他の包括利益累計額合計	4,112	△1,215
非支配株主持分	4,686	2,733
純資産合計	164,897	159,202
負債純資産合計	270,731	277,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	230,409	226,657
売上原価	183,099	177,320
売上総利益	47,310	49,337
販売費及び一般管理費	31,487	33,403
営業利益	15,822	15,933
営業外収益		
受取利息	347	198
受取配当金	175	132
持分法による投資利益	73	—
その他	382	423
営業外収益合計	978	754
営業外費用		
支払利息	583	350
為替差損	264	—
持分法による投資損失	—	2
その他	364	696
営業外費用合計	1,212	1,049
経常利益	15,588	15,639
特別利益		
短期売買利益受贈益	348	—
投資有価証券売却益	705	—
特別利益合計	1,053	—
特別損失		
固定資産処分損	270	424
関係会社事業再構築損失	570	567
減損損失	27	1,728
災害による損失	—	499
特別損失合計	868	3,220
税金等調整前四半期純利益	15,774	12,418
法人税、住民税及び事業税	4,024	2,868
法人税等調整額	248	228
法人税等合計	4,272	3,097
四半期純利益	11,501	9,321
非支配株主に帰属する四半期純利益	430	306
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,070	9,015

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	11,501	9,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	804	△272
繰延ヘッジ損益	72	235
為替換算調整勘定	△321	△5,690
退職給付に係る調整額	138	41
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	△99
その他の包括利益合計	668	△5,785
四半期包括利益	12,170	3,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,764	3,687
非支配株主に係る四半期包括利益	405	△151

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,774	12,418
減価償却費	8,012	8,427
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△275	△545
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	214	153
受取利息及び受取配当金	△522	△331
支払利息	583	350
減損損失	27	1,728
関係会社事業再構築損失	570	567
災害による損失	—	499
投資有価証券売却損益 (△は益)	△704	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,723	△3,667
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,020	△944
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,528	2,164
その他	92	△2,505
小計	21,598	18,315
利息及び配当金の受取額	523	325
利息の支払額	△593	△358
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,659	△4,981
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,869	13,301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,664	△11,780
無形固定資産の取得による支出	△1,024	△1,178
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
投資有価証券の売却による収入	1,465	1,220
子会社株式の取得による支出	—	△2,089
子会社出資金の取得による収入	32	—
関連会社株式取得による支出	△405	—
その他	△100	261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,707	△13,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,153	7,831
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	5,000
長期借入れによる収入	1,120	2,768
長期借入金の返済による支出	△5,065	△2,604
配当金の支払額	△3,868	△4,297
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△30	△4,874
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出	—	△517
非支配株主への配当金の支払額	△123	△125
その他	△103	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,917	3,077
現金及び現金同等物に係る換算差額	△119	△600
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	124	2,199
現金及び現金同等物の期首残高	12,681	12,999
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	197	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,003	15,199

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、連結子会社であるHARALD INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE ALIMENTOS S. A. の株式を追加取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が3,070百万円減少しました。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆	計		
売上高						
外部顧客への売上高	84,288	116,956	29,164	230,409	—	230,409
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,321	426	303	13,051	△13,051	—
計	96,609	117,383	29,467	243,460	△13,051	230,409
セグメント利益	5,342	9,789	3,028	18,161	△2,338	15,822

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,338百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,338百万円が含まれております。全社費用は、提出会社及び一部のエリア統括会社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	133,775	41,271	37,824	17,538	230,409	—	230,409
セグメント間の内部売上高 又は振替高	240	16,454	126	19	16,841	△16,841	—
計	134,016	57,726	37,950	17,558	247,250	△16,841	230,409
セグメント利益	11,614	3,586	2,718	319	18,238	△2,415	15,822

(注) 1. 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域…アジア:シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、タイ

米州:米国、ブラジル

欧州:ベルギー

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆	計		
売上高						
外部顧客への売上高	83,083	116,025	27,549	226,657	—	226,657
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,150	438	258	11,848	△11,848	—
計	94,234	116,464	27,807	238,505	△11,848	226,657
セグメント利益	6,310	9,415	2,679	18,406	△2,472	15,933

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,472百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,472百万円が含まれております。全社費用は、提出会社及び一部のエリア統括会社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	130,766	44,188	33,998	17,703	226,657	—	226,657
セグメント間の内部売上高 又は振替高	470	14,095	329	34	14,930	△14,930	—
計	131,237	58,284	34,328	17,738	241,588	△14,930	226,657
セグメント利益	11,650	3,098	2,437	943	18,130	△2,197	15,933

(注) 1. 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域…アジア:シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、タイ、
オーストラリア
米州:米国、ブラジル
欧州:ベルギー

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握することを目的に、提出会社及び一部のエリア統括会社におけるグループ管理に係る費用を各セグメントに配分せず、調整額として表示する方法に変更しております。

また、連結子会社でありますFUJI OIL (THAILAND) CO., LTD. は、従来「油脂」に含めておりましたが、同社における事業環境の変化を踏まえ、第1四半期連結会計期間より「製菓・製パン素材」の報告セグメントに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法及び変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

1. 取得による企業結合

当社は、2018年11月19日開催の臨時取締役会において、米国の業務用チョコレート製造企業であるBlommer Chocolate Companyを存続会社として、当社が本件買収のために設立した子会社Aztec Sub Inc. 社との合併を行う逆三角合併の方式により、Blommer Chocolate Companyの全株式を取得することを決議し、同日、本件買収に係る合併契約を同社と締結しております。

上記の合併契約に基づき、2019年1月28日付で同社の買収が完了したことにより完全子会社化しております。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 Blommer Chocolate Company

事業の内容 業務用チョコレートの開発・製造・販売、ココア豆加工事業

②企業結合を行った主な理由

当社は、中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」の基本方針のひとつである「コアコンピタンスの強化」においてチョコレート事業の拡大・発展を目指しております。

北米市場は世界有数の消費財市場を形成し、業務用チョコレート市場としては110万トン程度と単一市場では突出した世界最大の市場であります。Blommer Chocolate Company (以下、Blommer社) は、創業家が3世代に渡って経営してきた世界3位の規模を誇る業務用チョコレートメーカーであり、世界5位のココア豆加工事業会社でもありません。Blommer社は大手菓子メーカーから中小メーカーに至るまで、幅広くチョコレート及びココア製品の供給実績を有しており、不動の地位を確立しております。

今後、Blommer社に対して、当社グループの油脂技術の導入や原料調達面の統合などにより、当社グループのチョコレート事業の強化を図ってまいります。更に、当社グループが有する他の製品群の投入などを通じ、Blommer社の有する北米市場の幅広い顧客に販売していくことを目指してまいります。

③企業結合日

2019年1月28日

④企業結合の法的形式

米国の企業再編法制に基づく逆三角合併による買収

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社による現金を対価とする株式の取得であるため。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	63,716百万円
取得原価		63,716百万円

(3) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

2. 多額な資金の借入

当社は下記の借入を行っております。

(1) 使途

Blommer Chocolate Companyの株式取得資金

(2) 借入先の名称

株式会社三井住友銀行ほか4金融機関

(3) 借入金額

63,600百万円

(4) 借入利率

基準金利＋スプレッド

(5) 借入実行日

2019年1月25日

(6) 最終返済期限

2020年1月(予定)

(7) 担保提供資産

無

2019年3月期第3四半期 決算短信補足資料

目次

1.	連結 損益概要	P 2
2.	連結 部門別損益	P 3
3.	連結 地域別損益	P 6
4.	連結 貸借対照表	P 7
5.	連結 キャッシュフロー	P 8
6.	連結 経営指標	P 9

※ 部門別損益、地域別損益については、2019年3月期第1四半期より、各報告セグメントの経営成績の実態をより的確に把握することを目的に、グループ管理費用を各セグメントに配賦せず表示しております。これに併せて、前年度も組替を行っております。

連結 損益概要

売上高は、中国にて販売が伸長するも、採算を重視した販売戦略及び米ドル・レアルの円高による為替影響等により減収。営業利益は、原材料費のコスト低減等により増益。 単位：億円

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	増減額	増減率
油脂	843	831	▲12	▲1.4%
製菓・製パン素材	1,170	1,160	▲9	▲0.8%
大豆	292	275	▲16	▲5.5%
売上高	2,304	2,267	▲38	▲1.6%
油脂	53	63	+10	+18.1%
製菓・製パン素材	98	94	▲4	▲3.8%
大豆	30	27	▲3	▲11.5%
グループ管理費用	▲23	▲25	▲1	-
営業利益	158	159	+1	+0.7%
売上高営業利益率	6.9%	7.0%	+0.2pt	
経常利益	156	156	+1	+0.3%
親会社株主に帰属する当期利益	111	90	▲21	▲18.6%

<参考：主な海外子会社換算レート（期中平均）>

米ドル 111.92円 109.61円

レアル 35.28円 30.62円

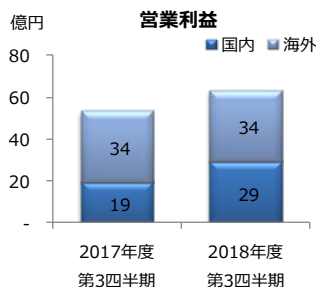
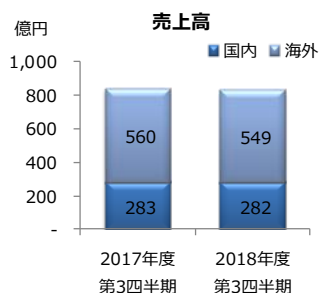
連結 部門別損益（油脂部門）

単位：億円

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	増減額	増減率
売上高	843	831	▲12	▲1.4%
国内	283	282	▲1	▲0.2%
海外	560	549	▲11	▲2.0%
営業利益	53	63	+10	+18.1%
国内	19	29	+10	+51.4%
海外	34	34	▲0	▲0.9%

ポイント

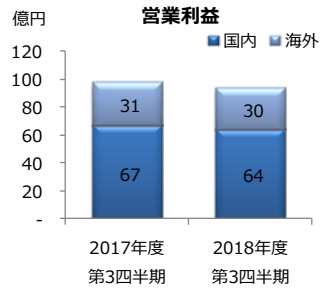
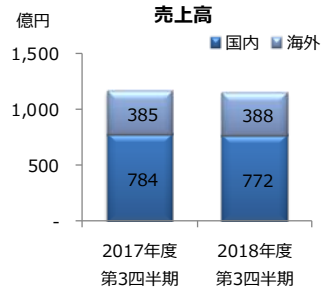
- **国内**
フライ用油脂などの採算重視の販売戦略により減収。
利益面では、販売戦略が奏功し増益。
- **海外**
米国の寒波による工場操業停止および米ドルの為替影響により減収。利益面でも米国の減収が響き、減益。



連結 部門別損益（製菓・製パン素材部門）

単位：億円

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	増減額	増減率
売上高	1,170	1,160	▲9	▲0.8%
国内	784	772	▲12	▲1.5%
海外	385	388	+3	+0.7%
営業利益	98	94	▲4	▲3.8%
国内	67	64	▲3	▲4.2%
海外	31	30	▲1	▲3.1%



ポイント

- **国内**
チョコレート、フィリング製品の販売減少により減収。
利益面はデザート製品の不調により減益。
- **海外**
中国でのフィリング・マーガリンの販売好調が、レアルの為替影響による減少をカバーし増収。利益面では、アジアでの調製品の採算悪化により減益。

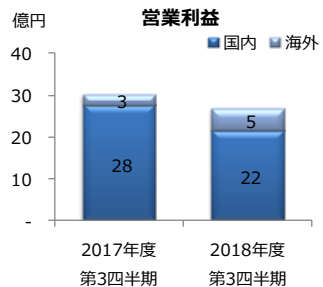
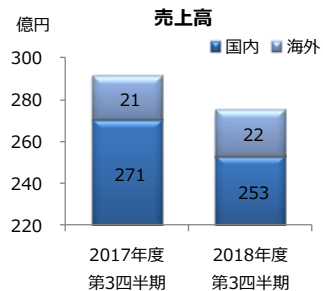
不二製油グループ本社株式会社

4

連結 部門別損益（大豆部門）

単位：億円

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	増減額	増減率
売上高	292	275	▲16	▲5.5%
国内	271	253	▲18	▲6.5%
海外	21	22	+1	+6.7%
営業利益	30	27	▲3	▲11.5%
国内	28	22	▲6	▲21.7%
海外	3	5	+3	+94.0%



ポイント

- **国内**
大豆たん白素材が健康食品や惣菜加工品向け販売で増加するも、大豆たん白食品の販売減少などにより減収。
利益面では、販売減少の影響で減益。
- **海外**
中国での販売好調により増収。
利益面では、採算改善により増益。

不二製油グループ本社株式会社

5

連結 地域別損益

単位：億円

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	増減額	増減率
日本	1,338	1,308	▲30	▲2.2%
アジア	413	442	+29	+7.1%
米州	378	340	▲38	▲10.1%
欧州	175	177	+2	+0.9%
売上高	2,304	2,267	▲38	▲1.6%
日本	116	117	+0	+0.3%
アジア	36	31	▲5	▲13.6%
米州	27	24	▲3	▲10.3%
欧州	3	9	+6	+195.6%
調整額 ※	▲24	▲22	+2	▲9.0%
営業利益	158	159	+1	+0.7%

※ 各エリアに配賦していない全社費用が含まれております

連結 貸借対照表

単位：億円

	2017年度 期末	2018年度 第3四半期	増減額	主な増減要因
流動資産	1,308	1,381	+73	現預金の増加、売上債権の増加
固定資産	1,399	1,392	▲7	のれんの減少
資産合計	2,707	2,773	+66	
有利子負債	566	694	+128	短期借入金の増加、CPの増加
その他負債	492	487	▲5	未払金の減少
負債合計	1,058	1,181	+123	
純資産合計	1,649	1,592	▲57	資本剰余金の減少、為替換算調整勘定の減少

<参考：主な海外子会社換算レート（四半期末）>

米ドル	112.0円	113.57円
レアル	33.86円	28.37円

連結 キャッシュフロー

単位：億円

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	対前期
税金等調整前四半期純利益	158	124	▲34
減価償却費 ※1	80	84	+4
その他	▲69	▲75	▲6
営業活動によるキャッシュフロー	169	133	▲36
有形固定資産の取得による支出	▲97	▲118	▲21
その他	▲0	▲18	▲18
投資活動によるキャッシュフロー	▲97	▲136	▲39
フリー・キャッシュフロー	72	▲3	▲74
借入金等による調達・返済	▲28	130	+158
配当金支払	▲39	▲43	▲4
その他	▲3	▲56	▲54
財務活動によるキャッシュフロー	▲69	31	+100
為替変動による現金及び現金同等物への影響	▲1	▲6	▲5
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	-	▲2
現金及び現金同等物の増減額 ※2	1	22	+21
現金及び現金同等物残高	130	152	+22

※1 減価償却費には、有形固定資産および無形固定資産等の償却費を含めております

※2 現金及び現金同等物の増減額には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めております

不二製油グループ本社株式会社

8

連結 経営指標

<参考情報>

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	2016年度	2017年度
ROE ※1	5.9%	10.7%	9.5%	7.6%	8.3%	8.8%
売上高当期純利益率	3.0%	5.3%	4.8%	4.0%	4.1%	4.5%
財務レバレッジ (倍)	1.9	1.9	1.7	1.8	1.8	1.7
総資産回転率	114.2%	109.1%	114.0%	110.0%	108.6%	113.3%
収益性						
売上高営業利益率	5.9%	7.2%	6.9%	7.0%	6.7%	6.7%
ROA ※1,2	5.5%	7.9%	7.6%	7.6%	7.3%	7.4%
安全性						
流動比率	181.7%	180.5%	192.3%	173.7%	190.4%	193.9%
自己資本比率	51.4%	53.3%	57.5%	56.4%	55.4%	59.2%
効率性						
CCC (日)	108	105	108	108	110	103
成長性						
営業利益成長率	16.2%	24.5%	1.1%	0.7%	16.9%	4.0%
EPS成長率	▲14.1%	79.6%	▲3.5%	▲18.6%	31.2%	13.5%
営業キャッシュフロー (億円)	64	107	169	133	165	282
設備投資 (億円)	96	100	106	124	136	147
減価償却費 (億円) ※3	67	71	73	77	96	100

※1 年換算後の数値を表示しております

※2 経常利益÷総資産で計算しております

※3 有形固定資産の減価償却費を表示しております

不二製油グループ本社株式会社

9